

栃木県農業大学校

栃木県農業大学校は、令和7年度に創立120周年を迎えました。

当校は、優れた農業経営者等を育成するため、専門性の高い知識、技術や経営管理能力が修得できるよう、作物の栽培や牛の飼養管理及び経営管理等に関する講義・実験と実習の履修時間をおおむね50：50の割合で実施しています。

次世代型園芸人材育成施設



「園芸大国とちぎ」の実現の一翼を担う意欲ある人材の育成を図るため、露地野菜の生産を実践的に学ぶことができる先端技術を用いた園芸の育苗施設をはじめ、機械化一貫体系による教育環境を整備しています。

なしGLOBALG.A.P.認証8年目



果樹専攻では、GLOBALG.A.P.の認証を継続しています。2017年度に日本なしで取得して以来、毎年認証機関による更新審査を受けています。

年間237時間実施する専攻実習は、日本なし以外の果樹もすべてこの認証基準を遵守して実施します。世界最高レベルのGAPを習得できます。

夢を育むドリーム牛舎

ドリーム牛舎では、ICT等の先端技術を駆使し、乳用牛と肉用牛の一体的な飼養管理を行っています。

監視カメラや行動モニタリング機器、分娩監視装置等の情報通信技術を活用することで、牛舎から離れた場所でも牛の状態や分娩の状況がリアルタイムに確認できます。

畜産に「夢」を持ち入学した学生が、様々な技術を学び、さらに大きな「夢」を持って羽ばたけるよう教育内容も充実させています。



次世代型最先端（高軒高）トマトハウス



高軒高ハウスは、ハイワイヤー誘引によるトマトの促成長期栽培が可能で、高収量が見込める先進的なハウスです。

ICTを活用した複合環境制御やスマートフォン等による栽培環境データの把握が可能で、先進的な栽培技術を学ぶことができます。

栃木県農業大学校

農業総合学科

農業生産学部

■ 作物専攻 水稲・麦・大豆等

水田センサーなどICT技術を活用した水稲栽培や麦、大豆等の水田農業経営について学んでいます。

■ 露地野菜専攻 ねぎ・たまねぎ等

水田での機械化一貫体系による露地野菜の栽培など、収益性の高い土地利用型農業経営について学んでいます。

■ 施設野菜専攻 いちご・トマト等

いちごは「とちあいか」・「スカイベリー」など県が開発した品種を取り入れ、最新の栽培技術を学んでいます。

トマトは、次世代型最先端（高軒高）ハウスで促成長期栽培や養液施設で促成栽培を学んでいます。

■ 花き専攻 シクラメン・キク・カーネーション等

様々な鉢もの・切り花の生理生態や高品質生産に向けた栽培管理、省力化・低コスト化に関する知識・技術等について学んでいます。

■ 果樹専攻 なし・ぶどう・りんご・ブルーベリー等

県内生産が盛んな「なし」や「ぶどう」を中心に、県内の主な果樹について、栽培技術や経営管理方法、GLOBALG.A.P.等を学んでいます。



畜産学科

■ 酪農・肉用牛

ICT技術を駆使したドリーム牛舎を活用して、飼養管理、家畜人工授精師の資格取得、飼料作物栽培等、実践的な畜産経営について学んでいます。



農業
経営学部

いちご学科

令和3年度に新設し、最先端のいちごの栽培技術や経営に関する知識を学ぶ座学・実習・農家研修を通じて、地域のリーダーとなる「いちご経営者」を育成しており、現在までに19名が就農しています。



卒業後は、自営就農や農業法人等への雇用就農をはじめ、農業関連団体・企業等へ就職し活躍しています。